

# 防災用語の具体的な改善検討

---

# 防災用語の改善検討

- 防災情報に関する用語について、近年の災害状況や、防災情報、社会、情報通信環境の変化等を踏まえ、住民にとってわかりやすい防災用語・表現への見直しを実施する。
- 防災用語は、①緊急的な対応を促す用語、②注意喚起する用語、③状況を説明する用語に分類できるが、第1回の検討会では、①緊急的な対応を促す用語の改善検討する。

## 緊急的な対応を促す用語

“氾濫” “内水”  
“決壊” “越水” “右岸・左岸”  
“異常洪水時防災操作”

## 注意喚起をする用語

“危機管理型水位計”  
“水害リスクライン”

## 状況を説明する用語

“洪水”  
“バックウォーター”  
“タイムライン”

行動を促す用語を  
第1回で検討

分かる防災用語  
行動につながる伝え方

## 洪水予報文の事例(警戒レベル3相当)

- 警戒レベル3相当の洪水予報である「氾濫警戒情報」は、河川の水位が「氾濫危険水位」に達すると見込まれるとき、または「避難判断水位」に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるときに発表する情報である。
- 洪水予報文の見出し・主文は、今後の河川水位の見込みに応じて、内容を記載(雛形から選択)。

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正規</div>	<h3>〇〇川氾濫警戒情報</h3>	〇〇川洪水予報第〇号 洪水警報(発表) 平成〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇河川事務所・〇〇地方气象台 共同発表
見出し	(見出し) <p style="text-align: center;"><b>【警戒レベル3相当情報[洪水]】〇〇川では、避難判断水位に到達し、今後、氾濫危険水位に到達する見込み</b></p>	
主文	(主文) <p>【警戒レベル3相当】〇〇川の〇〇〇水位観測所(〇〇県〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、「避難判断水位」に到達しました。今後、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達する見込みです。〇〇市、〇〇市、〇〇町では、〇〇川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。</p>	

## 洪水予報文の事例(警戒レベル4相当)

- 警戒レベル4相当の洪水予報である「氾濫危険情報」は、河川の水位が「氾濫危険水位」に到達したとき、または「氾濫危険水位」以上の状態が継続しているときに発表する情報である。
- なお、警戒レベル4相当情報は、避難勧告等の発令目安となるレベルの情報であり、「氾濫危険水位」への到達を知らせると併せて、市町村からの避難情報の確認、安全の確保など、適切な防災行動を促す内容としている。

	<div data-bbox="344 667 465 715" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正規</div> <div data-bbox="920 707 1352 754" style="text-align: center; font-size: 1.2em;">〇〇川氾濫危険情報</div> <div data-bbox="1424 758 1926 869" style="text-align: right; font-size: 0.8em;">           〇〇川洪水予報第〇号            洪水警報            平成〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分            〇〇河川事務所・〇〇地方气象台 共同発表         </div>
見出し	<div data-bbox="369 898 501 933" style="margin-bottom: 5px;">(見出し)</div> <div data-bbox="510 959 1756 1038" style="text-align: center;"> <b>【警戒レベル4相当情報 [洪水]】</b> 〇〇川では、氾濫危険水位に到達し、            氾濫のおそれあり         </div>
主文	<div data-bbox="369 1070 501 1106" style="margin-bottom: 5px;">(主文)</div> <div data-bbox="461 1155 1906 1337"> <p>【警戒レベル4相当】 〇〇川の〇〇〇水位観測所（〇〇県〇〇市〇〇）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。〇〇市、〇〇市、〇〇市、〇〇町では、〇〇川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。</p> </div>

# 洪水予報文の事例(警戒レベル5相当)

- 警戒レベル5相当の洪水予報である「氾濫発生情報」は、氾濫が発生したとき、または氾濫が継続しているときに発表する情報である。
- 氾濫発生情報は、防災行動のため、具体的な場所がわかるよう、氾濫が発生した地先を記載。

見出し

正規

## 〇〇川氾濫発生情報

〇〇川洪水予報第〇号  
 洪水警報  
 平成〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分  
 〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し)

**【警戒レベル5相当情報 [洪水]】〇〇川では、(堤防決壊による) 氾濫が発生**

主文

(主文)

**【警戒レベル5相当】**〇〇川では、●●市●●地区(△△岸)付近において(堤防決壊による)氾濫が発生しました。  
 直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

### 氾濫による浸水が想定される地区※

△△県△△市	〇区、〇〇区、〇〇〇区、□区
△△県□□市	〇×地区、〇〇×地区、〇〇〇×地区、□×地区、□□×地区

※ 氾濫による浸水が想定される地区については、一定の条件下に基づく計算結果での推定です。  
 気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でも氾濫による浸水がおこる可能性があります。

## 氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)の発信事例

- 河川事務所においては、洪水予報の発表とあわせて記者発表により氾濫の発生等を周知している。
- 一部において、「右岸、左岸」、「越水」などの用語のみで状況を伝えている事例もある。

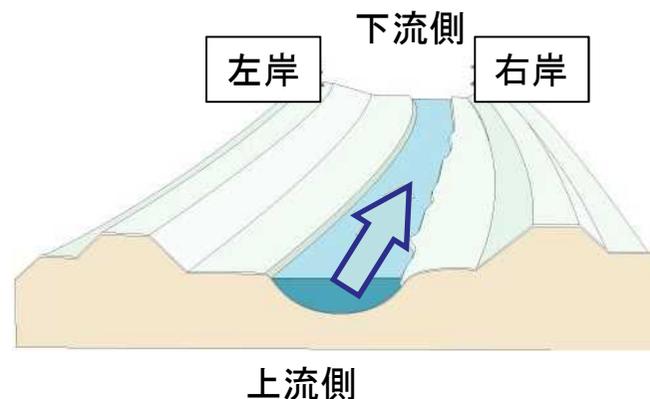
(記者発表事例)

### 【防災情報】台風19号に伴う降雨による防災情報(第3報)

〇〇川河川事務所では、台風19号の接近に伴い、災害対策支部(風水害)非常体制に移行し、水位の状況を警戒していましたが、21:48●●川**右岸**で堤防の**越水**を確認しました。

○右岸、左岸

川の上流から下流に向かって、右側が「右岸」、左側が「左岸」。



## 氾濫の危険を促す情報提供

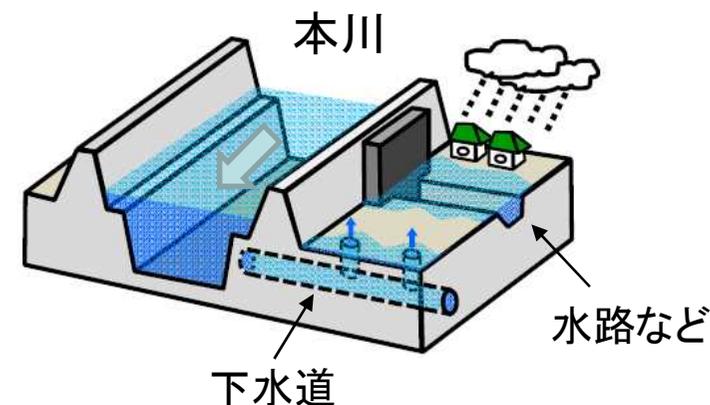
■ 氾濫の危険を知らせる記者発表においては、補足を加えて説明することとした「内水」がそのまま用いられている事例がある。

### （記者発表事例）

これまでに降った雨により、〇〇川の水位が上昇すると、▲▲水門が閉まります。  
その場合、内水氾濫が発生する可能性があります。  
避難に関する情報が出た場合には、早めに避難をお願いします。

### ○内水（内水氾濫）

堤内地の排水機能の低下による堤内地にたまった流水・雨水などの氾濫。  
【広辞苑第7版より】



# 緊急速報メールによるプッシュ型通知

- 氾濫発生情報（警戒レベル5相当）、氾濫危険情報（警戒レベル4相当）は緊急速報メールにより、プッシュ型で地域に伝達。
- 令和元年東日本台風後の検証チームでの検証を経て、簡易な文案に改善を検討中。

## 従来

### レベル4相当 氾濫危険情報

河川氾濫のおそれ  
 ●2019/10/12 17:00  
 警戒レベル4 相当

こちらは国土交通省関東地方整備局です

内容：多摩川の田園調布（大田区）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる氾濫危険水位に到達しました

行動要請：防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市区町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります  
 (国土交通省)

### レベル5相当 氾濫発生情報

河川氾濫発生  
 警戒レベル5 相当

こちらは国土交通省関東地方整備局です

内容：越辺川の東松山市正代地先、川越市平塚新田地先で堤防が壊れ、河川の水が溢れ出ています

行動要請：防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、命を守るための適切な防災行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺でも受信する場合があります  
 (国土交通省)

## 課題

- ・他の緊急速報メールと比べ文章が長い（文字が多いと読まない）
- ・直接的な情報を有していない文は不要
- ・発信者は最後、重要な情報から先にすべき
- ・状況が伝わらない、“氾濫危険水位”の意味もわからない人も多いと思われる
- ・自治体が配信する避難勧告のメールとの違いを明確にすべき

## 改善案

文章を簡潔にするとともに、重要な情報から順に記載

【警戒レベル4相当】  
 氾濫のおそれ

警戒レベル4相当

多摩川で氾濫のおそれ

田園調布（大田区）付近で河川の水位が上昇、氾濫が発生する危険があります

自治体からの情報を確認し、安全確保を図るなど速やかに適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になります

（国土交通省）

【警戒レベル5相当】  
 氾濫発生

警戒レベル5相当

越辺川で氾濫が発生

東松山市正代地先（西側）、川越市平塚新田地先（南東側）で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています

命を守るための適切な防災行動をとってください

（国土交通省）

改善イメージ

# 大雨特別警報解除後の氾濫に対する注意喚起

- 大雨特別警報の「解除」を安心情報と捉えた住民が自宅に戻った後に、上流部で降った雨が下流部に流下し、時間がたってから氾濫が発生。大雨の後に時間差で発生する氾濫への注意喚起が必要。
- 大雨特別警報解除後の氾濫への警戒を促すため、大雨特別警報の解除を警報への切替と表現するとともに、警報への切替に合わせて、今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表。
- メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起を実施。

## 大雨特別警報の切替に合わせて 「河川氾濫に関する情報」を発表

今後の水位上昇の見込みなどの「河川氾濫に関する情報」を発表し、引き続き警戒が必要であること、大河川においてはこれから危険が高まることを注意喚起。

国土交通省 常陸河川国道事務所 気象庁 水戸地方気象台

「大雨は峠を越えたが、河川は氾濫のおそれ」

### ■久慈川

(氾濫危険：警戒レベル4相当)

富岡観測所(常陸大宮市)では、当分の間、氾濫危険水位を超える水位が続く見込みであり、氾濫のおそれあり。

榊橋観測所(日立市)では、避難判断水位を超過しており、今後、氾濫危険水位に到達する見込み。

基準観測所	水位状況	今後の見込み
富岡 (常陸大宮市)	氾濫危険水位超過 (レベル4相当)	水位上昇中
榊橋 (日立市)	避難判断水位超過 (レベル3相当)	水位上昇中。氾濫危険水位到達見込み

## メディア等を通じて住民へ適切に注意喚起

メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るため、予め本省庁等の合同記者会見等による周知を図るとともに、SNS・気象情報等あらゆる手段で注意喚起を実施。



# 長時間先の水位・危険予測の充実

- 現在、洪水の一部として3時間先までの水位予測情報を提供。
- 今後、6時間先までの水位予測の提供により、防災体制の早期構築、大雨後に時間差で発生する氾濫への警戒等に活用。

## 従来

### 現在の洪水予報における3時間先までの水位予測の提供

阿武隈川上流の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
	水位(m) 又は 流量(m <sup>3</sup> /s)		水防団 待機	氾濫 注意	避難 判断	氾濫 危険
須賀川 水位観測所 (須賀川市)	12日 22時 20分の状況	8.11				
	12日 23時 20分の予測	8.88				
	13日 00時 20分の予測	9.50				
	13日 01時 20分の予測	9.84				
阿久津 水位観測所 (郡山市)	12日 22時 20分の状況	8.10				
	12日 23時 20分の予測	8.84				
	13日 00時 20分の予測	9.10				
	13日 01時 20分の予測	9.11				
本宮 水位観測所 (本宮市)	12日 22時 20分の状況	6.71				
	12日 23時 20分の予測	7.40				
	13日 00時 20分の予測	8.05				
	13日 01時 20分の予測	8.27				
二本松 水位観測所 (二本松市)	12日 22時 20分の状況	8.81				
	12日 23時 20分の予測	9.73				
	13日 00時 20分の予測	10.41				
	13日 01時 20分の予測	10.80				
福島 水位観測所 (福島市)	12日 22時 20分の状況	5.17				
	12日 23時 20分の予測	6.30				
	13日 00時 20分の予測	6.96				
	13日 01時 20分の予測	7.26				
伏黒 水位観測所 (伊達市)	12日 22時 20分の状況	4.03				
	12日 23時 20分の予測	4.78				
	13日 00時 20分の予測	5.50				
	13日 01時 20分の予測	5.93				

水位のグラフは各水位間を按分したものです。  
水位危険度レベル4については、氾濫危険水位と計画高水位を按分しており、氾濫危険水位 = 計画高水位の場合は最大になります。

## 改善案

### 6時間先までの水位予測の提供



1kmメッシュの予測降雨を活用した水位予測(6時間先まで)



# ダムの状態に関する情報発信

<b>現状の分析</b>	ダム管理者は「異常洪水時防災操作」との呼称を用いる一方で、報道等では「緊急放流」との呼称が使われている。
<b>対応の方向性 (案)</b>	「異常洪水時防災操作」は実施局面・オペレーション内容を表すものであるが、どのようにして適切に受け手に伝え、避難行動に結びつけるか検討を進める。 →「異常洪水時防災操作」について、受け手側に何をどのように伝えるかを整理

## 異常洪水時防災操作

<経緯>

●平成23年4月1日に「ただし書き操作」→「防災操作(異常洪水)」→「異常洪水時防災操作」へと見直し

●このときの見直しのポイントは以下

- ・文字数制限がある場合には簡易で誤解のないような用語とする(洪水時の操作は「防災操作」)
- ・本見直しは直ちに法律、政令等の改訂をするものではなく、引き続き関係自治体、報道関係者等の声を聞きつつ改良をしていく
- ・「防災操作」は、「予備放流」、「放流」、「洪水調節」を包括した操作行為の呼称としたもの
  - 予備放流: 大雨に備えて必要なダムの洪水貯留容量を確保・維持するため、ダムから水を流しているもの
  - 放流: 次の大雨に備えるため、ダムから水を流しているもの
  - 洪水調節: 川の増水を緩和するため、ダムに流れ込む水を貯めているもの
- ・「防災操作(異常洪水)」は、下記の状態にあるものとして、防災操作のうちの特例操作の呼称としたもの
  - ダムが満水に近づいているため、ダムに貯め込める量が徐々に減っている状態
  - ダムが満水に達したため、ダムに貯められなくなり、流れ込んでいる水を通過させている状態



単語化

「異常洪水時防災操作」

出典:ダム操作に関する用語等の見直し  
(国土交通省水管理・国土保全局

<http://www.mlit.go.jp/river/dam/main/sousa/index.html>)

# ダムの状態に関する情報発信

## 異常洪水時防災操作

### <課題>

異常な洪水時におけるダムの操作の呼称として実施局面・オペレーション内容を表してはいるが、ダム管理者の行為を正確に表そうとするあまり、情報の受け手に対するメッセージ性が希薄



改善に向けた考慮事項

### 【発信する側の視点～沿川住民等に対して何を伝えたいか】

- ダムに貯め込める量が減り、最終的には貯め込めなくなることから、ダム下流河川において河川水位を低下させることができなくなる  
→(被害の防止・軽減のための行為の一つをこれ以上行えなくなり)ダムの洪水調節効果が減少していく結果、自然のままの洪水の流れとなり、下流河川の水位がこれまで以上に上昇し氾濫のリスクが高まる危険性がある
- ダムに貯め込んだ貯留水をゼロから一気に大量に放流開始するものではなく、最終的にダムへの流入量と同程度の量を放流することになる  
→ダムの貯水位を下げるために放流するものではなく、ダムがない場合の河川の洪水流量よりも多くの流量を放流するものではない

### 【受け手の側の視点】

- 明確さ(誤認回避性)  
情報の受け手が誤解なく理解しやすいか、
- 聞き取りやすさ(直感理解度)  
直感的に意味を想像できるか、文字と音声の両面で意味を理解しやすいか、別の用語と紛らわしくないか
- 平易さ  
言いやすいか、表示しやすいか(文字数が多い用語は好ましくない)、専門的すぎないか
- 行動誘発性  
情報の受け手が必要な行動を取ることにつながりやすいか
- 定着度  
定着している言葉か(行政内部の定着より一般への定着を重視し評価)
- 多義性  
複数の別種の操作を包含した言葉になってないか

# ダムの状態に関する情報発信

## 「異常洪水時防災操作」の説明

＜キーワード＞ 満水、貯留の限界、水位低下機能、通過、流入と同程度の放流、非常、河川水位上昇、リスク、避難 等

### ●どのような操作・状態か

ダム貯水池に流入した洪水の貯留が進み満水(貯留の限界)に近づいた段階において、ダムからの放流量を、洪水調節中の限度放流量から漸増させ、ダム貯水池への流入量と同程度になるように近づけていき、満水に達したときにはダムに洪水を貯められなくなり流入量をそのまま下流に通過させるもの

### ●この操作・状態をダム下流の沿川ではどのように理解していただきたいか

この操作を行うこととしたときには、ダムでの洪水の貯留、すなわち、氾濫被害の防止・軽減のためにダムによって下流河川の水位低下を図ることがこれ以上できなくなる非常事態であり、下流河川はダムがない状態に近づき自然のままの洪水によってこれまで以上に水位が上昇していくおそれがあり、氾濫のリスクがより高まることから、沿川住民の方々には避難を判断し行動していくことを考えていただきたい

→ダムが満水になり上流の山地から流れてきた水がそのままダムを通り過ぎていくため、河川の増水(河川の水位上昇)を抑制・緩和することができなくなり、氾濫のリスクが高まる

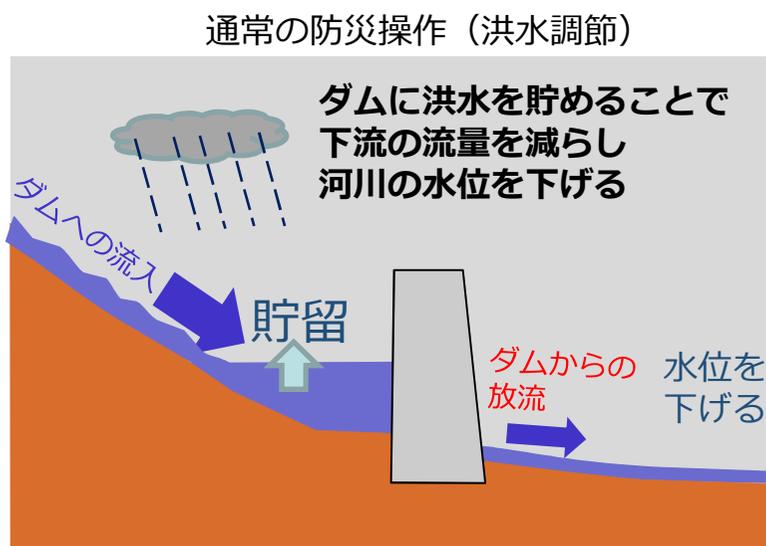
### ●その操作をせずにダムへの貯留を続けるとどのようになるのか

操作をせずにダムへの貯留を続けると、ダムの貯水位が上昇し続け、設計上、ダムから放流することが想定されていない箇所からの放流となることが考えられ、(設備に損傷が生じればさらに続く洪水に対しても)放流を制御することができなくなるおそれがあり、下流の河川水位の急激な上昇と氾濫が生じるおそれがあるほか、それまでダム貯水池に捕捉された(溜まっていた)流木が急激に流下し下流被害の拡大が生じるおそれもある

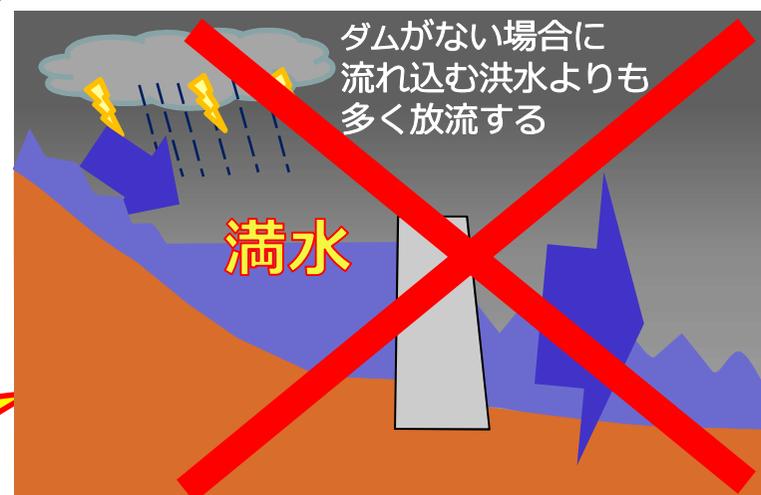
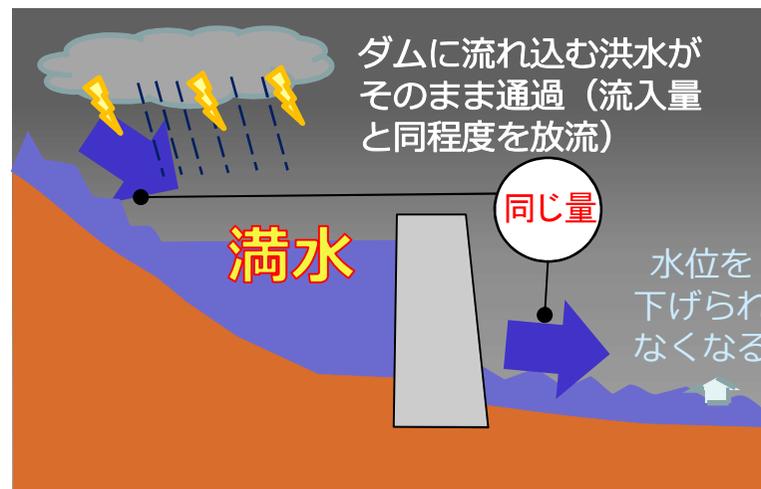
# ダムの状態に関する情報発信

## 「異常洪水時防災操作」の説明

- ダムが満水になること、満水になりつつあることをどのようにリアルに感じていただくか
- ✓ 視覚的な絵・画像による直感的な情報を提供



異常洪水時防災操作



このような操作・状態ではない

# ダムの状態に関する情報発信

## 「異常洪水時防災操作」の説明

- ダムが満水になること、満水になりつつあることをどのようにリアルに感じていただくか
- ✓ 視覚的な絵・画像による直感的な情報を提供

ダム本体の堤頂付近に設けられた非常用洪水吐（満水前であり流れていない）  
 ダムが満水になり、非常用洪水吐から流れている

ダムの洪水貯留状況をイメージ図及びインジケータ的に画面表示



洪水貯留中（満水前）



満水時

## ● 説明の進め方

- ✓ 平素と危急時の両面からの説明により、「伝える」から「伝わる」「共感」へ
- ✓ 平素から関係自治体や関係住民との間で、ダムの能力とは、ダムの操作とは、異常洪水時防災操作とは、事前放流とは、といったことを毎年繰り返し説明・意見交換していくプロセス、つまり、リスクコミュニケーションをしっかりとっていくことが重要

## 緊急的な対応を促す用語の改善

- 平成18年の提言では、以下のような改善案が示されている。
- これらの用語を再確認し改善した用語の使用を徹底するとともに、見直しが必要なものについては、簡潔な表現で、理解しやすく、誤解を与えないような用語への改善案を検討する。

H18.6時点	H18改善提言	備考
(水位情報で用いる用語)		
計画高水位	氾濫危険水位	利用の徹底
危険水位		
特別警戒水位	避難判断水位	
警戒水位	氾濫注意水位	
指定水位	水防団待機水位	
(河川の洪水警報等で用いる用語)		
(〇〇川)洪水情報	〇〇川氾濫発生情報 〇〇川氾濫危険情報	令和元年度より、警戒レベル相当情報として整理
(〇〇川)洪水警報	〇〇川氾濫警戒情報	
(〇〇川)洪水注意報	〇〇川氾濫注意情報	

## 緊急的な対応を促す用語の改善

H18.6時点	H18改善提言	備考
(災害発生などを表す用語)		
破堤	堤防の決壊	利用の徹底
決壊	決壊	
欠壊	一部流出(崩壊)	
越水、溢水	水があふれる	
浸水、冠水	浸水	
出水	増水	
左岸・右岸	〇〇市側、(方角)側	
堤内地・堤内	堤防の居住側(堤防より居住地側)	
堤外地・堤外	堤防の川側(堤防より川側)	
直轄区間	国管理区間	
指定区間	県(都道府)管理区間	
内水	<b>内水</b> (河川に排水できずに氾濫した水)	

※一部の用語は、緊急的な対応を促す際には用いていない

## 緊急的な対応を促す用語の改善

H18.6時点	H18改善提言	備考
(ダム関係の用語)		
ただし書き操作	無調節操作(ゼロカット操作) 【平成23年見直し】 <b>異常洪水時防災操作</b>	
設計洪水位	設計時最高水位	} 利用の徹底
サーチャージ水位	洪水時最高水位	
常時満水位	平常時最高貯水位	
洪水期制限水位	洪水貯留準備水位	

※一部の用語は、緊急的な対応を促す際には用いていない

# 注意喚起をする用語、状況を説明する用語の点検

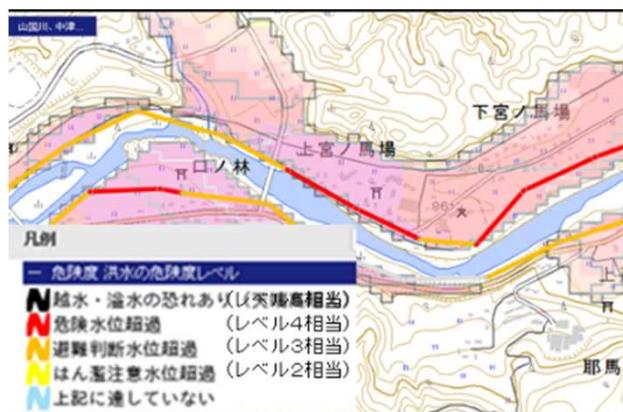
- 第2回目以降、**注意喚起をする用語**、**状況を説明する用語**等をご検討いただきたい。
- 例えば、技術の進歩により、新たな機器の導入、新たな情報の発信を開始しているが、技術開発等の過程で使用した用語をそのまま利用している例が多く、防災情報で用いる際には用語の改善が必要。
- その他、改善が必要な用語を点検し、検討を進める。

## 注意喚起をする用語の例

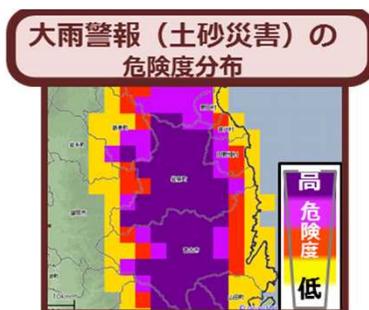
- 危機管理型水位計
- 簡易型河川監視カメラ
- CCTVカメラ



## ● 水害リスクライン

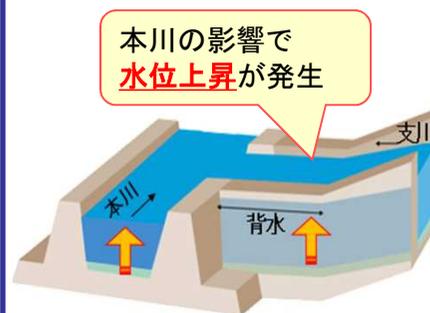


## ● 危険度分布



## 状況を説明する用語の例

- バックウォーター
- 洪水

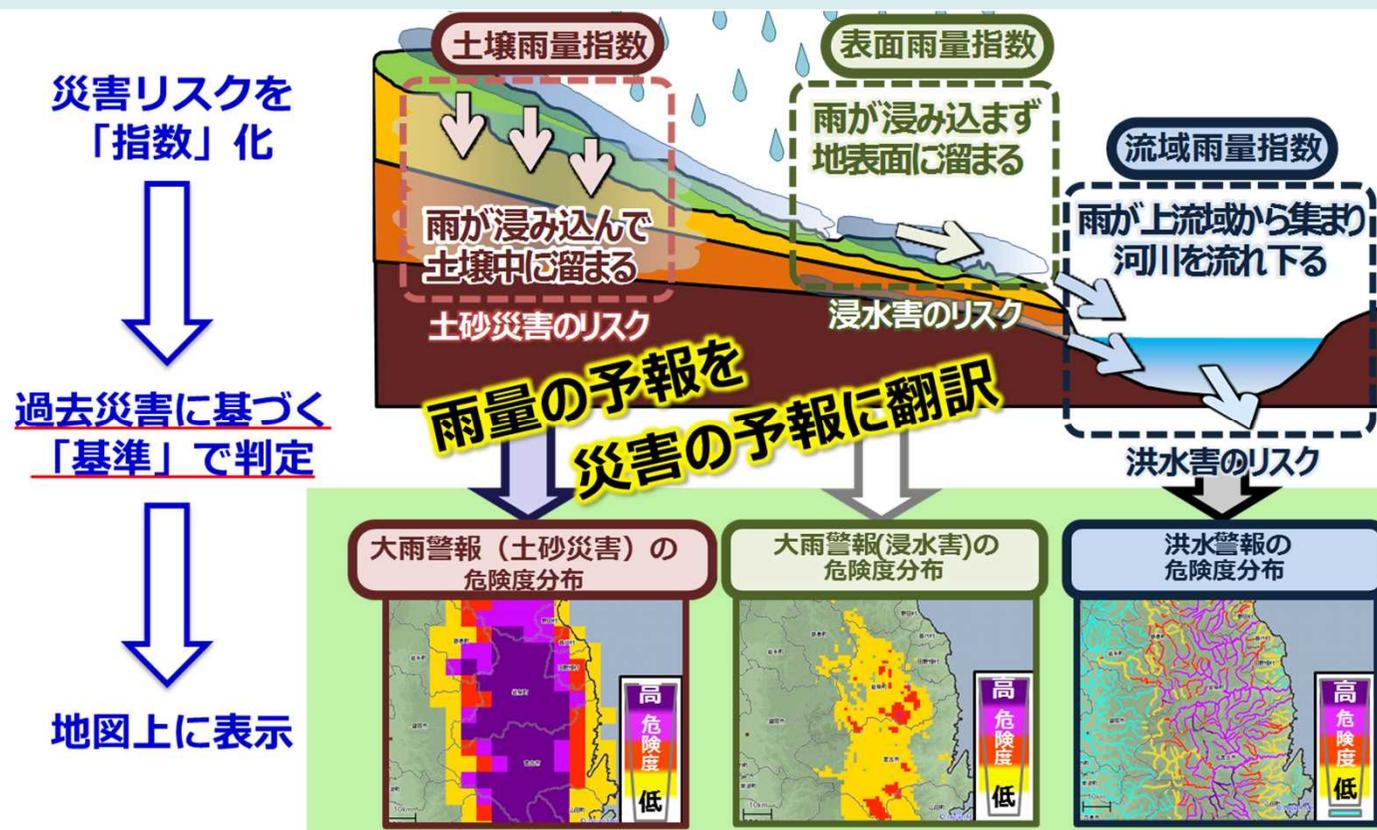


## ● タイムライン

	国土交通省	交通サービス	市町村	住民
台風発生	○気象庁 ○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表
台風上陸の可能性	○気象庁の発表 ○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表
災害発生の危険性	○気象庁の発表 ○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表
台風接近	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表
台風上陸	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表	○気象庁の発表

# 注意喚起をする用語【警報の危険度分布】

- 気象庁では雨によって引き起こされる災害発生の危険度の高まりを表す土壌雨量指数・表面雨量指数・流域雨量指数を活用した「危険度分布」を提供している。
- 「危険度分布」は一定の知名度を得ているが、民間事業者等においては「危険度マップ」などと表現されており、さらなる知名度向上・利活用向上のためには、わかりやすい名称とする必要がある。



## 名称の改善案

土砂災害危険度マップ

浸水危険度マップ

洪水危険度マップ

【参考】  
民間事業者等が用いている名称

事業者名	名称
Yahoo! JAPAN	「大雨警戒レベルマップ」の要素として「土砂災害」「河川洪水」が存在
ゲヒルン	「土砂災害の危険度分布」「洪水警報の危険度分布」「浸水害の危険度分布」
島津ビジネスシステムズ	「雨予想マップ」の要素として「土砂災害」「浸水害」が存在
NHK	「データマップ」の要素として「土砂災害危険度マップ」「河川情報・中小」が存在

## 状況を説明する用語【洪水】

- 河川管理者においては、「洪水」は河川内を流れる水の増水及び氾濫の両方を意味する言葉として用いられている。一方、一般には、「氾濫」と同義語として用いられている。
- 混乱を避けるため、緊急時に用いる防災用語として用いる際の意味、用法の整理が必要と考えられる。

# 洪水

### <土木用語辞典>

kozui こう水（洪水）

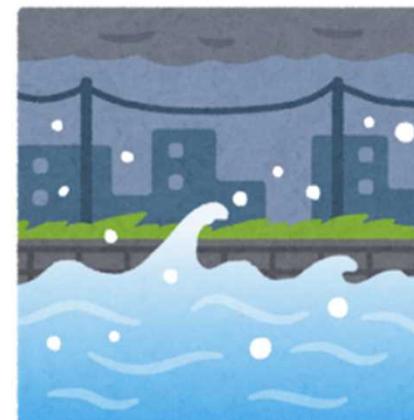
大雨や融雪などによって河川流量が増大すること。出水ともいう。

### <新明解国語辞典第五版>

こうずい【洪水】大雨や雪どけなどのために、河川の水があふれ出ること。流域の田畑や家屋などに被害を与える元となる。



氾濫



増水

## (参考)気象キャスターやメディア関係者へのアンケート

- 用語の点検として気象キャスターとメディア関係者に対し、一般に理解されにくいと感じられる表現・用語について、アンケートを実施。
- 「氾濫危険情報」、「氾濫警戒情報」等については、気象キャスター、メディアとも理解されにくい用語に感じており、一般に伝える際には、言い換えの工夫もされている。

### <気象キャスターに対するアンケート(令和2年3月)>

#### ■行政側が出す情報(気象、河川、避難に関する情報)のうち、一般に理解されにくいと感じられる表現・用語・内容

・「氾濫**注意**情報」「氾濫**警戒**情報」「氾濫**危険**情報」が、ふと、**どちらがより危険だっけ**、と立ち止まってしまうことがある。

・右岸・左岸、堤内地、計画高水位、異常洪水時防災操作、内水氾濫、越水・溢水  
(意味を調べたりしているうちに**命に危険が及ぶ**おそれ)

#### ■気象キャスターとして伝える際に言い換えていることや、分かりやすくなるよう工夫されていること

・「氾濫危険情報」→**すでに溢れていてもおかしくない**、  
「氾濫警戒情報」→**いつ溢れてもおかしくない** など

・越水→**川の水が堤防の高さを越えてあふれる**

### <メディア関係者に対するアンケート

(テレビ・ラジオ・CATV等)(令和2年3月)>

#### ■国土交通省が出す水害・土砂災害情報について、分かりにくい表現・用語・内容

・氾濫危険**水位**と、氾濫危険**情報**などが混在し、何がどう違うのか、特に一般の人には**分りづらいし混乱も招きかねない**。

・「河川CCTV映像」の**CCTV**の言葉の意味が分りませんでした。

・**ダム緊急放流**を昔は**ダムに貯まった水を一気に出すのか**と勘違いしていた。

#### ■国土交通省による情報提供について、ご意見・要望等

・情報を欲している視聴者の方たちには、分りやすい表現で伝えたいため、**専門用語には注釈を付ける**などの配慮が望ましい。

・**誰が見ても聞いても分かる表現**を心がけていただければと思います。

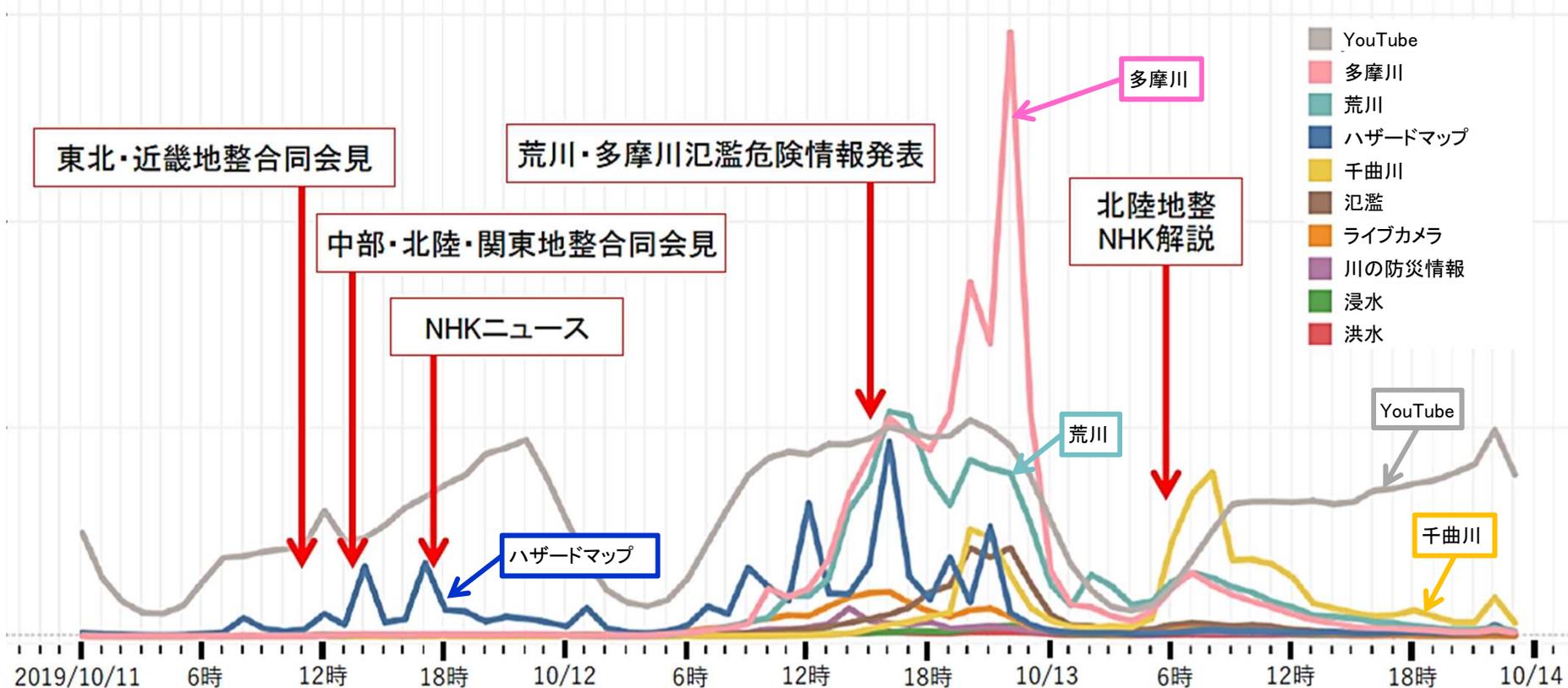
## (参考)インターネットでの検索キーワード(東京エリア)

- 台風接近時に、検索サイトにおいて、検索された台風関連のワード上位30を整理したところ、河川に関係するワードは、“ライブカメラ”、“河川名+「水位」”、“河川名+「氾濫」”といったものが多い。
- 現在、国土交通省ウェブサイトからの情報提供では、「ライブカメラ」という用語は使用しておらず、また、“河川名+「水位」”、“河川名+「氾濫」”の検索で、所望の情報をすぐに見つけ出せないこともある。
- 用語の改善にあたっては、検索のしやすさという視点からの検討も必要ではないか。



## (参考)インターネットでの検索キーワード

- インターネット検索キーワードの時間毎の推移を見ると、多摩川で氾濫発生情報が発表された10/12(土)22 時台に「多摩川」が9つのキーワード中で最大の検索量となった。
- 「ハザードマップ」は、相対的に検索量が多く、10/11(金)14 時台と17 時台に検索量の山が発生。合同会見やニュースのタイミングで検索量が増加していると考えられる。



令和元年東日本台風に関するYahoo!キーワード検索数の時間変化（令和元年10月11～13日；全国）  
 ※ 検索量の程度を把握するため、令和元年10月の検索量が1位であったキーワード「youtube」の検索量を比較用に表示